

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	日本史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(文系)・進学(文系)
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)				
副教材等	詳説 日本史図録 第10版 (山川出版社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
 ②我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培う。
 ③国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	歴史へのアプローチ 第1章 日本文化のあけぼの	第1学期中間考査	10月	第4章 中世社会の成立	第2学期中間考査
5月			11月		
6月	第2章 律令国家の形成	第1学期期末考査	12月	第5章 武家社会の成長	第2学期期末考査
7月			1月		
8月		第3学期期末考査	2月	第6章 幕藩体制の確立	第3学期期末考査
9月	第3章 貴族政治と国風文化		3月		

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [定期考査 授業態度 課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	世界史探究(選択)				
教科	地理歴史科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年・進学(文系)
使用教科書	詳説 世界史探求 (山川出版社)				
副教材等	新詳世界史図説 ニュービジュアル版 (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①世界の歴史の大きな枠組みを諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
- ③グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第I部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出	10月	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	第2学期中間考査
5月	第2章 中央ユーラシアと東アジア	第1学期中間考査	11月	第II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出
6月	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出	12月		第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出
8月			2月	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出
9月	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	・ノート提出 ・定期考査 ・課題提出	3月		第3学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[世界の歴史の基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身につける]
② 思考・判断・表現	[歴史の過程や結果を適切に思考・判断・表現する]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[主体的に授業、レポートを取り組み、成果として現れている。]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	公共				
教科	公民科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 全クラス
使用教科書	高等学校 公共(第一学習社)				
副教材等	公共ノート (第一学習社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち I 公共的な空間と人間とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	10月	主題2 契約と消費者の権利・責任	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査
	II 社会に参画する自立した主体として			主題3 司法参加の意義	
5月	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 I 人間あり方生き方についての探求	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	11月	第2章 政治的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査
	II 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値			主題4 政治参加と公正な世論の形成	
6月	第3章 公共的な空間における基本的 I 自立した主体となることに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	12月		第2学期期末考査
7月	II よりよい公共的な空間づくりをめざして	第1学期期末考査	1月	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査
8月			2月	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査
9月	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 ・ノート提出 ・定期考査 	3月		第3学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能 [倫理、政治・経済の基本的な事柄や学び方を理解し、知識を身に付けている。]

② 思考・判断・表現 [授業内で出たレポート等を提出し、発問に適した回答ができています。]

③ 主体的に学習に取り組む態度 [主体的に授業、レポートを取り組み、定期考査で成果として現れている。]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します